


分野	12	就学前教育・保育
施策	122	多様な保育サービスの確保
5年後の目標	子どもの状況・保護者の就労状況など多様な需要に応じた保育サービスが確保されている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	病児・病後児保育運営助成事業	会計	款	項	目	8,725,700	こども福祉課
		一般	3	2	1		
事業の概要							
病気や病気の回復期にある子どもが保護者の就労等により家庭で保育できない場合に、一時的に保育や看護を行います。加えて、保育ニーズに応じて新たな病児・病後児保育環境を整備します。							

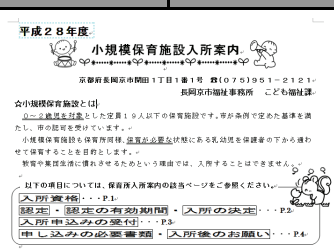
平成28年度の取組							
D (取組)	指標	病児・病後児保育実施施設数				単位	か所
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	1(平成26年度)	目標	1	2	2	2	2
		実績	1				
<p>・病児・病後児保育を行う市内の法人等に対して運営助成を行い、同事業の健全かつ安定した運営と、利用児童への適正な保育の実現を支援しました。平成28年度の延べ利用児童は病児保育473名、病後児保育102名でした。また、平成29年度に設置を予定している2か所目の事業所をより利用し易い施設とするため、保育施設を利用する保護者を対象にアンケートを実施しました。</p>							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・市内1か所で、病児・病後児保育事業を実施しました。また、アンケート調査の結果を受けて、2か所目の病児・病後児保育事業の実施内容について検討しています。	—
	課題等	・病児・病後児保育(実施場所)は現在市内1か所での実施となっておりますが、立地的に市の中心部ではなく、公共交通機関を利用して通勤する保護者にとって、送迎に係る負担が大きくなっています。			—

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動) 1: 計画通りに進めることが適当	・立地を理由に事業を利用できなかった世帯も利用しやすいよう、平成29年度中に2か所目の病児・病後児保育の開設します。

分野	12	就学前教育・保育
施策	122	多様な保育サービスの確保
5年後の目標		子どもの状況・保護者の就労状況など多様な需要に応じた保育サービスが確保されている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	小規模保育施設の充実		会計	款	項	目	90,975,345	こども福祉課
			一般	3	2	3		
事業の概要								
地域の多様な保育ニーズにきめ細かく対応するために、小規模保育施設を充実するなど、年度途中に生じる保育ニーズに適切に対応する施策を検討します。								

平成28年度の取組								
D (取組)	指標	小規模保育施設数					単位	か所
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	32
		目標	3	4	4	4	4	4
	3(平成27年度)	実績	3					
<p>・平成27年度より開設した小規模保育施設3施設の運営及び、平成29年度以降開園を希望する事業者を支援し、長岡京市子ども・子育て支援事業計画に基づく施設整備を進めています。平成28年度の利用定員は3施設合計43名でした。</p>								

施策の「5年後の目標」に対する評価						
平成28年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<p>・平成27年度より開設した小規模保育施設3施設の運営を支援し、43名の利用定員を確保することで、乳児(0~2歳児)を中心とした保育施設利用待機状況の改善に努めました。</p>		—
	課題等	<p>・乳児(0~2歳児)を中心に発生している待機児童は、小規模保育施設の新設により直接的に解消する手段として有効ですが、乳児の入所枠を拡大してきたことで、3歳児の入所が困難となっており、幼児の教育・保育の場の確保も課題となっています。</p>				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>・長岡京市子ども・子育て支援事業計画に基づき、小規模保育施設の開設と、運営を支援し、待機児童解消に努めるとともに、多様な事業者が参入しても質の高い保育を実現できるよう指導監査を実施します。</p>

分野	12	就学前教育・保育
施策	122	多様な保育サービスの確保
5年後の目標	子どもの状況・保護者の就労状況など多様な需要に応じた保育サービスが確保されている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	駅前保育施設運営助成事業	会計	款	項	目	30,091,640	こども福祉課
		一般	3	2	3		
事業の概要							
女性の社会進出や地域活動への参加、生きがいづくり等の環境を整備し、公共交通機関に隣接した利便性と立地条件を活かして、夜間保育や休日保育、一時保育等の多様な保育サービスを提供するために、保育施設に対して運営助成を継続します。							

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	一時預かり及び早朝・夜間並びに休日保育年間延べ利用人数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	438(平成26年度)	目標	450	前年度数値を下回らない	前年度数値を下回らない	前年度数値を下回らない	前年度数値を下回らない
		実績	523				
<p>・平成28年度の月極保育利用児童は延べ461名と本市待機児童の重要な受け皿として機能しているとともに、一時預かり利用児童数は年間延べ353名、日祝日保育利用児童は延べ160名、夜間保育利用児童は延べ10名と、認可保育施設が実施できていない事業や、一部実施しているものの全てのニーズに応えられていない部分を補い、市の重要な保育資源として活用されました。</p>							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・駅前という利便性を活かして、月極保育に加え、一時預かりや休日夜間保育を実施し、多様化する市民の保育ニーズに応えています。	—
	課題等			・駅前という立地で高い利便性を持つ反面、他認可保育施設等と比べ、月極保育料や一時預かりの利用料金が高額であるなど、利用者の経済的負担が大きい施設となっています。	

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>・多様な保育ニーズに対応しつつ、利用者負担の軽減や利便性を更に向上させるため、事業実施方法や事業主体等について検証し、見直しを行っていきます。</p>